

参考資料

①バーナードスについて (出典: Barnardo's History: Frequently asked questions
http://www.barnardos.org.uk/what_we_do/our_history/history_faqs.htm)

バーナードスの歴史 FAQ

1) バーナードスの歴史はいつから？

1867年にロンドンのイーストエンドで、トマス・バーナードが貧しい子どもたちが無料で基礎的な教育を受けられる学校を始めたのが始まりです。ある夕方、ジム・ジャービスという男の子が、イーストエンドにトマス・バーナードを連れ出し、屋根の上や側溝で寝ている子どもたちを見せて回りました。この遭遇が彼をとらえ、彼は貧困状態にある子どもたちを助けるために自らをささげることを決意しました。

1870年、ステップニー・コーズウェイで、男の子のためのホーム第1号がオープンしました。彼は、定期的に夜のスラム地区へ出向き、貧しい男の子を見つけて回りました。ある夕べ、11歳のジョン・サマーズ(ニックネームはキャロット)という子は、シェルターが満員で入ることができず引き返しました。その2日後、ジョンは野ざらし状態で栄養失調で亡くなり、それ以来、ホームは「身寄りのない子どもの入所を決して拒まない」というサインを掲げることとなりました。

バーナードは、後にバーキングサイドに女の子のためのビレッジホームをオープンし、緑の中のたくさんのコテージに1500人の女の子たちを住まわせました。

2) バーナードスが始まって以来、その活動は変わった？

30年以上前に、バーナードスは孤児のための施設の運営を中止しました。しかし、現在のバーナードスの活動も、設立のときと同じ価値観に基づいています。

1867年から、私たちの提供するサービスは変化し、これからも子どもたちや若い人たちのニーズに沿うよう変化し続けるでしょう。しかし、最も支援の必要な子どもたちや若い人たちを助けるという私たちの使命は変わることがないのです。

3) 今も孤児院を運営している？

1960年代に伝統的な孤児院や居住型施設の運営は辞めました。最後の昔ながらのスタイルの施設は1989年に閉じましたが、3つの寮制の学校は運営しています。

4) これまで運営していた施設はどうなったのか？

かつてイギリスのあちこちにバーナードスのホームがありましたが、現在孤児院は運営しておらず使われていません。(バーナードスのストーリーや写真はウェブサイトで。)

5) いつ名称をバーナードスに変更した？

1960年代の法律改正は、バーナードスの施設に入る子どもたちの数が減少していることを意味していました。そのため、居住型のサービスを減らして、身体障害のある子どもたちや、精神的、行動的問題を抱える子どもたちの支援を発展させることとなりました。これを受けて、

1966年にドクターバーナードスホームから、ドクターバーナードスと団体名を変更しました。

そして1988年には、ビクトリア朝の時代を反映するドクターバーナードスという組織名をバーナードスへと変更し、1989年に最後の昔ながらの施設を閉鎖しました。

6) 現在、バーナードスはどのように子どもたちを支援しているか？

イギリスの子どもたちのための代表的な慈善団体として、バーナードスは毎年20万人以上の子どもたち、若い人たち、その家族らのために直接的な活動をしています。イギリス全土において、虐待を受けた子どもたちのカウンセリング、里親と養子縁組の支援、職業訓練、障害を包含するグループなどのプロジェクトを展開しています。ウェブサイトでは、バーナードスの活動の記事が読め、どのようにバーナードスが子どもたちの生活を変えているかがわかるビデオを観ることができます。

7) バーナードスの資金はどこから？

地方自治体からの資金提供もありますが、バーナードスは一人でも多くの子どもたちを支援するために、多くは一般からの寄付に頼っています。

②ルーモス (Lumos) について

ハリー・ポッターの著者、J.K.ローリングが2005年に創設した英国の国際的NGO。世界中で、子ども達が施設ではなく家庭で暮らすための体制作りを支援する活動を行っている。特にモルドバ、チェコ、ブルガリアなどの中央・東ヨーロッパにおいて、子どもが実親の下で暮らし続けられるようにする支援、里親など家庭養育への移行、また家族再統合の促進により、家庭で暮らす子どもの数を増やす支援を実施してきた。多くの施設が母子の支援施設、保育園、里親を支援する組織などに役割を転換している。

ルーモスの提示する De-institutionalization(DI)とは単純に施設を閉鎖するということではなく、施設ケアから地域・家庭を基盤とするケアへの移行であり、大きなシステム全体の再構築を意味する。各国政府とも協力し、様々な水準での協働を展開し、最近では、ギリシャ、マレーシア等にも活動の場を拡げ、その専門性と経験を共有している。世界銀行、米国国際開発庁 (USAID)、カナダ国際開発庁 (CIDA)などと共に「子どものためのグローバル・アライアンス(Global Alliance for Children)」のメンバーでもある。2015年4月、ルーモス USA オフィス開設。

2015年6月にCEOであるジョルジェット・ムルヘア氏が来日講演、日本の社会的養護の現場を視察し意見交換をした。さらに、2016年2月には日本の国会議員、地方議会議員、地方自治体や児童相談所関係者らを対象に家庭養護推進のための視察研修がロンドン、オックスフォードで実施された。